

## 令和4年度「夏休み子ども科学研究室」を開催しました

令和4年度とやま科学技術週間に夏休み子ども科学研究室「サイエンス・ラボ～身近な環境を科学しよう！～」を開催したところ、のべ172名にご参加いただきました。

当日は、科学実験や工作などを通じて、環境保全への関心と理解を深め、環境保全行動について楽しく学んでいただきました。

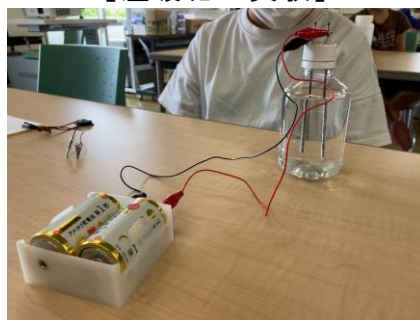
- ・ 日 時 令和4年7月21日（木）から8月10日（水）の平日  
午前部（実験）：10:00～12:00  
午後部（工作など）：13:30～15:30
- ・ 場 所 環境楽習室エコ・ラボとやま（環境科学センター）
- ・ 参加人数 のべ172名（幼児、小学生、中学生、保護者）
- ・ 指導者 環境科学センター職員、地球温暖化防止活動推進員
- ・ 内 容

### 【水の実験】



パックテストを用いて、見た目では違いのわからない水を調べ、きれいな水を守るための行動などについて学びました。

### 【温暖化の実験】



地球温暖化とその影響について学び、環境にやさしい未来のエネルギーやライフスタイルなどについて学びました。

### 【音の実験】



音の性質や騒音を減らす方法について学ぶとともに、音を目で見えるようにする体験などをしました。

### 【マイクロプラスチックの実験】



ごみやマイクロプラスチック問題について学ぶとともに、生分解性プラスチックを作る体験などをしました。

### 【工作など】





地球温暖化に関連してマイ温度計マグネットづくり、大気汚染やマイクロプラスチックに関連して紫外線の強さがわかるビーズストラップ、スライムづくりなどを行いました。

また、デジタル四次元地球儀(ダジック・アース)や動画などで将来の地球の平均気温予測などについて学び、環境保全行動について考えるきっかけづくりとしました。

### 【会場の様子など】



水の実験



音の実験



温暖化の実験



エコ・ラボ展示物（廃棄物の分別）



ソーラークッカー（太陽エネルギー）の説明



プラグインハイブリッド車(PHEV車)説明

## 参加者の感想など

- ・地球温暖化のせいで、いろいろな環境がこわれてしまっているのので、できるだけ電気を使わないようにしたいです。
- ・学校の授業で、地球温暖化や SDGs について学習したけど、この機会でもっと詳しく知ることができて良かったです！
- ・環境などについてよく分かった。地球温暖化についてもっとしりたい。
- ・SDGs をまもるためにも、ゴミひろいや、電気をむだにつかわないことが、わかりました。
- ・富山の水と海外の水を比べるなど、実験で調べるのがおもしろかった。
- ・手で電気をつくれるとは思っていなかったからびっくりした。
- ・試験管に水を入れて演奏するのがおもしろかった。
- ・マイクロプラスチックについてよくわかったし、スライムやスーパーボールが作れたことが楽しかった。
- ・紫外線について分かった。工作も分かりやすく楽しかった。
- ・紫外線で色が変わったりする物をつくるのが楽しかった！
- ・いろいろな工作をして、未来に使われるかもしれないからおもしろかった。
- ・ふつうではできない実験をできたのでおもしろかったです！
- ・工作をしたり、地球温暖化のことがくわしくわかったからです。
- ・かみなり先生の動画がおもしろかった。(※地球温暖化が引き起こすさまざまな影響をわかりやすく解説した動画)